

イギリス旅行記その4

大英博物館やロンドン大学がある Bloomsbury (ブルームズベリー) 地区は大変落ち着いた街です。Blooms(花々)を bury(埋め込んだ)という意味になりますが、17世紀からは広場や庭園を組み合わせて作られた街だということで、そのあたりにも街の名前の由来があるのかもしれませんが。



焦げ茶色を基調として白い建物は何とも言えずシックで素晴らしい！街並みも落ち着いていて大変好きな場所の一つでした。



やっぱり本場イギリスでこそローバーはじっくりきますね！あ、日本の風景にそぐわないという事ではありません。ローバーの形は好きで昔は良くプラモデルを作っていました。今も私の医師室にはローバーのフィギュアを飾っています。

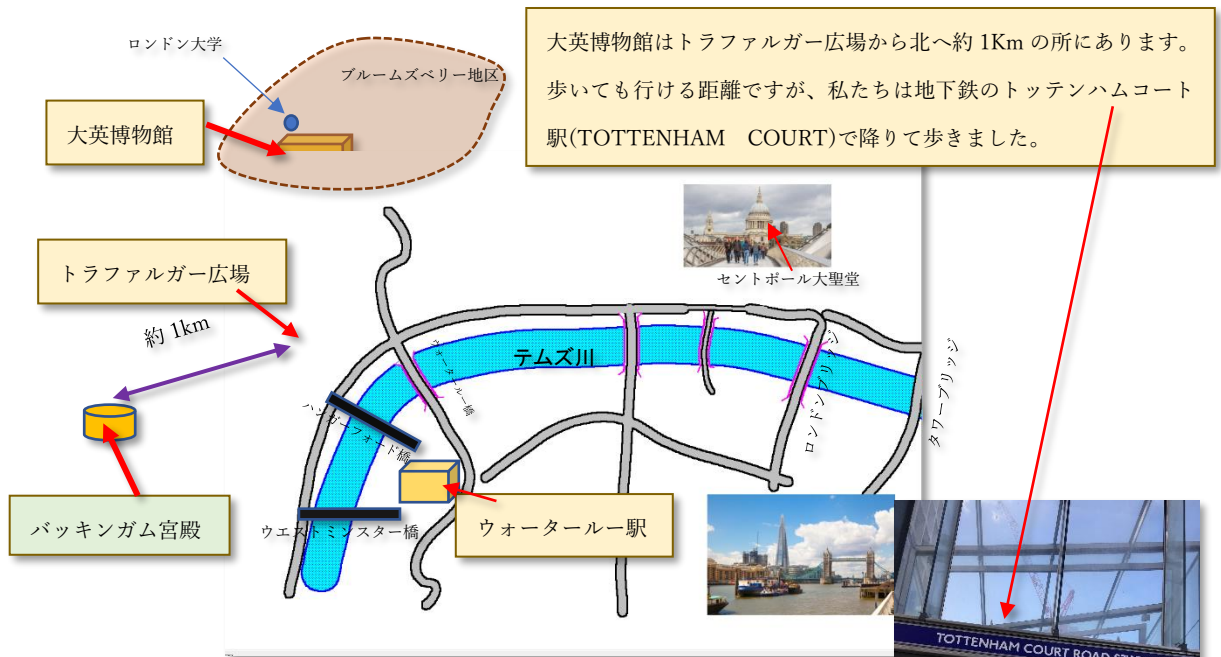


大英博物館 (The British Museum) 正面



大英博物館 (The British Museum) 右側

大英博物館 (The British Museum) は1759年に開館しています。当日は残念ながら1階以外は展示物などの整理などが行われていたようで、見る事が出来ませんでした。残念！



refund(払い戻し)と記載されている所なら払い戻しが可能。保証金 (deposit) 5 ポンドが購入する時に含まれています。

画面では日本語も表示可能で選択できます。ただ、zone 1 だとか、色々書いてあって良く分からなかったら駅員さんが丁寧に説明してくれました。利用する人は予習しておいてくださいね！
ネットで丁寧に説明している人もいますので。



改札口の横などに設置されています。駅によっては奥にあるので分かりにくいところもあります。

地下鉄はスリが多いと書いてあったりしたので、地下鉄を利用する予定ではなかったので殆ど予備知識が無い状態でした。結局地下鉄を沢山利用しました。オイスターカードなる名称がついたカードを利用しましたが、残金があれば上写真の一番右で精算できます。料金が足りなくなった場合には改札口の開閉板が閉鎖されて通れなくなります。通れなくなったので、駅員さんに Why can I pass? と言ったら Not enough money と言われました。なので、またお金を補充しました。ちなみに、オイスターカードの名称は牡蠣の殻がしっかり中を守るという事でセキュリティーがしっかりしているとか、昔はテムズ川で牡蠣の養殖が行われていた事に起因するそうです



大英博物館 (The British Museum) 正面



1階フロア。屋根が綺麗！



1階展示室。アフリカなどの紹介をしていました。



2019年5月23～8月25日迄マンガ展が開かれる案内。アニメでなく Manga マンガと書かれているところが日本アニメの浸透を表現しているようで興味深いですね。

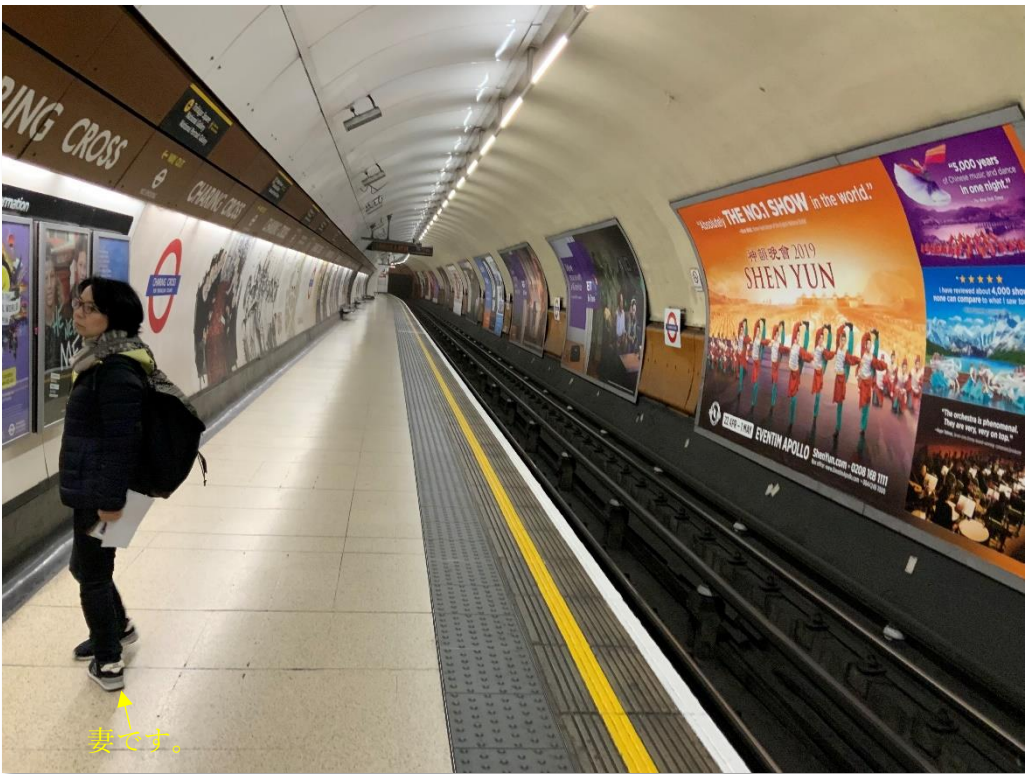
チケット売り場。

大英博物館 (The British Museum) 1階



地下鉄の駅はどこも綺麗でゴミも無く感じよかったですね。CM 写真も多くてカラフルでしたね。

地下鉄の駅によってはエスカレーターが長くて乗るスペースが狭いので重いスーツケースなどしっかり握っておく必要はあります。



妻です。